

# カリキュラム編成方針

## 一般科目

一般科目は、実践的技術者として備えるべき、基礎能力の育成、基本的なコミュニケーション能力の育成、忍耐・協調性・責任感・倫理観などの人間性の涵養、リーダーシップ・企画立案能力・実行力の育成を図るために、後期中等教育段階相当の内容の教授に考慮を払いつつ、各専門系との連携を保ちながら、高等教育レベルの教育水準に移行できるようなカリキュラムを編成している。

具体的には、人文科学系の分野では基礎的な知識、日本語および外国語によるコミュニケーション能力を身につけられるよう、また、自然科学系の分野では各専門系における工学的な知識・技術を学ぶ際の基礎となる知識を修得できるよう、1学年から3学年の間に、国語・社会・数学・理科・英語・体育・芸術など後期中等教育段階に相当する科目を配置している。

## 専門科目

全学年を通して「創造工学科」の柱となる系統的な創造性教育をおこなう。第1学年では専門分野や一般科目の基礎を固め、自主的学習の習慣を身につけさせる。第2・第3学年では専門分野の基礎を確実に身につけさせるため、専門基礎科目を配置する。第4・第5学年では専門分野の実践力を育成するため、専門基礎科目に加えて応用科目を展開する。また、他分野を含めた幅広い視野を持たせ、融合分野に対応する柔軟性を身につけさせるため、創造工学科の複数分野の学生を対象にした専門共通選択科目による学際教育をおこなう。